

医療法人社団

五稜会病院

「壮年期・青年期・思春期のストレスケア

病棟」に特化。思春期デイケアもさらに充実

認知症など高齢患者のこころを専門とする病院が数多いなか、若い患者の「こころと身体」を専門とする数少ない病院として知られるのが五稜会病院である。

「患者さんの負担にならないような明るい環境づくりと、病前の社会背景と病状を考慮しながら個々を尊重する治療を心がけています」と千丈雅徳院長。

こうした病棟環境と充実したデイケアの実践から、クリニックからの紹介で訪れる患者も多く、また優れた病院の指標とされている日本医療機能評価機構認定病院に認定されている。

ストレスケア・思春期病棟では、思春期精神疾患や摂食障害、ストレス関連疾患、パニック障害、強迫性障害、うつ状態などに対応。また急性期病棟では、不安が強くて眠れない、落ち着かない、落ち込みがひどいなどの急性の状態にある患者の診療にあたっている。

同病院では、精神保健指定医や日本心身医学会認定医、日本

消化器病認定医、救急医学認定

医をはじめ、看護師、薬剤師、臨床心理士、精神科ソーシャルワーカー、作業療法士などが、患者一人ひとりの個性や自主性、ライフスタイルを大切にしながら治療、癒しを目標としたチーム医療を実践している。

最近では、ここ数年リストラや復職に悩む40代、50代の男性を中心とした自殺者の増加を背景に、従来から行っている対人交流のスキルを身に付けるプログラム（ソーシヤル・スキルズ・トレーニングⅡSST）と、自分自身のストレスをうまく調

整する認知行動療法を柱とするグループセミナーに職場復帰に向けたリワークを考慮した復職プログラムも実践される予定だ。さらに、不登校児に対して、



プライバシーに配慮した個室



最新センサーを使用したナースステーション。オープン形式なので気軽に声がけやすい



院長 千丈 雅徳氏

1981年北海道大学医学部卒業。岩見沢市立総合病院精神科医長。北海道医療大学大学院教授などを経て、2002年から五稜会病院副院長、06年同病院院長。専門は思春期精神医学。日本青年期精神療法学会、日本精神神経学会会員、精神保健指定医、医学博士

全国展開する通信教育学校との提携により、従来のデイケア、プログラムに実際の卒業単位の取得につながる学習プログラムを組み入れるなど、思春期患者の社会参加に向けた新たな支援策も検討されている。

「入院、外来（デイケア）、社会と、段階を踏んで治療は進んでいきます。患者さんが入院、外来を通して、アタツチメント（愛着）とデタツチメント（分離）を体得し、社会へのコミットメント（参加）の方法を学ぶ。入院と社会生活の間となるもの、社会参加への準備運動にあたる部分をデイケアが担う。あくまでも患者さんが自立して地域に参加できるための力を付けられるよう援助することが使命であり、その機能は十分に発揮していると考えています」

入院中心の精神医療から、より効果的な外来中心の地域医療の推進を目指している。

●札幌市北区篠路9条6丁目2-3 TEL.011-771-5660(代表) 011-773-9896(医療相談室)

●院長 千丈雅徳

●診療科目 神経科・心療内科・精神科・内科・消化器科

●診療時間 月～土 9:00～12:00 13:00～16:00(土曜は第1・3のみ)

●休診日 第2・4・5土曜・日曜・祝日

http://www.goryoukai.com